

水素燃料電池バス等を用いた災害時活用実証の実施について

大規模災害時の避難所等の運営において、電源の確保は避難者の安全・安心に繋がる非常に重要なものとなります。しかしながら、東日本大震災など大規模災害では、商用電源が数日間途絶し、避難所の運営などに支障を来しました。現在、非常用発電設備などを用意できている避難所は少なからずあるものの、すべての避難所で整備はなされておらず、整備にも多くの費用が必要となります。一方、水素燃料電池バスは、大電力量を発電できること、移動できること、発電時の静音性から、非常用電源としての役割が期待できます。

そこで、水素燃料電池バスが運行している富谷市において、下記のとおり災害時の水素燃料電池バスの活用実証を実施いたします。実際の避難所運営を想定した中での、災害関連死の抑制に向けた在宅医療機器への給電能力試験は県内初となりますので、ぜひ御取材くださるようお願いいたします。

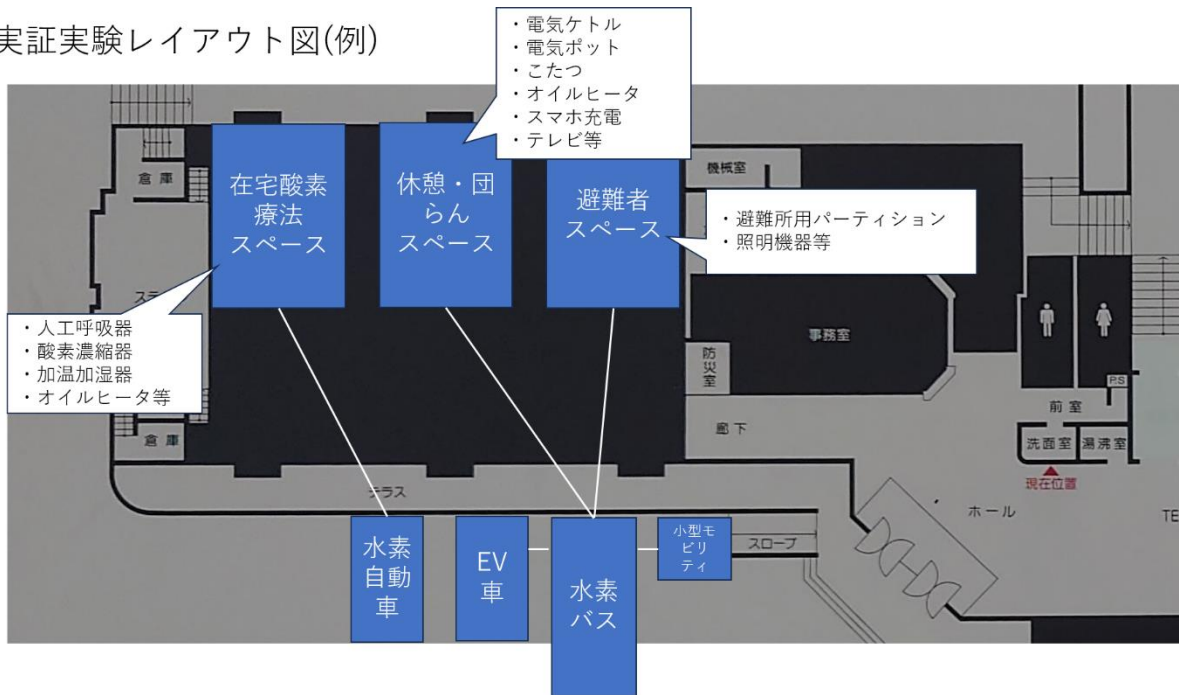
記

- 日時 令和5年11月28日（火）午後1時50分 受付
午後2時～ 説明・見学
- 会場 富谷市中央公民館（富谷市富谷西沢13）
- 主催 宮城県
- 協力 富谷市
東北大学災害科学国際研究所（実証実験の企画・監修等）
トヨタ自動車株式会社（実証実験の企画・監修等）
株式会社フィリップス・ジャパン（機器類の提供・操作等）
宮城交通株式会社（水素燃料電池バスの運転・操作等）
- 内容 （1）水素燃料電池バスから避難所運営資機材や電気自動車への給電能力試験
（2）水素燃料電池バス等から在宅医療機器（人工呼吸器等）への給電能力試験
- その他 御取材くださる場合は、取材申込書により、令和5年11月27日（月）正午までに再生可能エネルギー室宛てお申し込みください。

実証実験内容



実証実験レイアウト図(例)



送付先

宮城県環境生活部 再生可能エネルギー室 水素エネルギー推進班

FAX：022-211-2669 E-mail：saiseih@pref.miyagi.lg.jp

「水素燃料電池バスの災害時活用実証」取材申込書

社名	
取材機別 (該当するものがある場合に○)	ムービー ・ スチール
代表者氏名	
取材人数	
代表者の連絡先(電話番号)	

- 1 取材人数は、当日来場されるすべての方についてご記入ください。
- 2 令和5年11月27日(月)正午までにFAXまたはE-mailにてお申し込みください。
- 3 当日は、会場受付で名刺の提出をお願いします。